

新冠町体育協会創立50周年記念 北海道日本ハムファイターズ少年少女野球教室開催

5月24日、新冠町体育協会創立50周年記念事業として、北海道日本ハムファイターズ少年少女野球教室が開催され、45名の小学生が参加しました。

改修されたグラウンドと好天で最高のコンディションの中、元日本ハムファイターズの選手だった荒井昭吾さんと村上真哉さんにお越しいただき、指導を受けました。



参加した小学生は初心者から経験者までと様々でしたが、両コーチの丁寧な指導とユーモアを交えた教え方のおかげで、子供たちも目を輝かせながら最後まで指導を受けていました。

また、野球教室終了後は、全員で記念撮影をして参加記念品をもらうなど、子供たちにとって忘れられない一日となりました。

初心者テニス教室開催 判官館森林公園テニスコート

絶好のテニス日和となった5月18日、新冠町体育協会創立50周年記念事業として、初心者テニス教室が判官館森林公園テニスコートで開催されました。



参加したのは、小学生から大人までの18名。新冠町テニス協会会長の高橋和磨さんたちの丁寧な指導で、参加した皆さんもすぐに球を打ち返せるようになるほど上達し、終始、笑顔の絶えない教室となりました。

田植えを通じて学ぶ・知る 朝日小学校・比宇川流域環境保全会

このたび、美宇の鎌田一博さんの水田で、田植えを通して学習会と交流会が行なわれました。

田植え実習を行なったのは朝日小学校の5年生14名。昨年まで、美宇小学校で行なわれていた「田植え集会」を統合した朝日小学校の子供たちにも経験させたいとの学校側の熱意と、快く水田を貸してくれた鎌田さんのご好意で実現しました。

6月1日に開催されたのは、鎌田さんが代表を務める比宇川流域環境保全会主催の田植え祭り。

地域の子供たちや室蘭工業大学の学生など、約50人が参加し、田植えを体験しました。また、お昼には、山羊肉のバーベキューや和太鼓の演奏などで交流を図りました。

どちらの田植えも子供たちの歓声が絶えない賑やかで楽しい田植えとなりました。



題

あれこれ

第46回新冠町家畜共進会開催

自慢の乳用牛・黒毛和牛33頭出陳

5月30日、第46回新冠町家畜共進会が新冠町家畜共進会場（大狩部）で行われ、黒毛和牛17頭、乳用牛16頭が出陳されました。

出陳された牛は、各部門ごとにそれぞれ、体格や資質、発育状況などが審査され、上位入賞牛出陳者に記念品が手渡されました。また会場では、バーベキューも用意され、参加した皆さんの交流の場となりました。

なお、各部門ごとの最優秀賞は次のとおりです。
（敬称略）

黒毛和牛最優秀賞
ともみ2

（庄野 照彦）

乳用牛（未經産）最優秀賞

◇ジュニアチャンピオン

フラインビューヒルピーチエスメリー

（佐々木厚司）

◇リザーブジュニアチャンピオン

オーピュールRノラクロブリリー

（山田 優）

乳用牛（経産）最優秀賞

◇シニアチャンピオン

フジリンジエツトダーハムベル

（藤原 伸悟）

◇リザーブシニアチャンピオン

シャローババーシャルリンジエツトヒト

（浅川 豊）



ま ち の 話

陶芸で想い出づくり

9組の親子が参加

5月22日、子育て支援センターでチャイルドランド事業「想い出づくり」が行われ、9組の親子が陶芸作品づくりに挑戦しました。

今回、挑戦したのは、子供たちの成長を形に残そうとわが子の手形と足形を押したプレート作り。陶芸サークル（牛坂春子代表）の皆さんの指導のもと、参加したお母さん達も思い思いのプレートを作りました。



この後、窯入れを行い、7月には作品が完成するそうです。どんな作品ができるか楽しみです。

ホッカイドウ競馬を応援しよう バスツアー実施

5月22日、ホッカイドウ競馬を応援するため、バスツアーが実施され、36人の町民の皆さんが札幌競馬場で白熱したレースを観戦しました。



またこの日は、新冠町軽種馬生産振興会賞や新冠町長杯などのレースも行なわれ、馬産地新冠一丸となってホッカイドウ競馬を盛り上げました。

ボランティア清掃で節婦川をきれいに



ゴールデンウィークの5月6日、節婦ほろしりの里の父母の皆さんを中心に、ボランティアで節婦川の清掃・枝打ちが行なわれました。川には、鉄板やタイヤなどの大型ゴミも投棄されていて、引上げるのも大変だったそうですが、時間をかけてきれいにしていたいただきました。本当にありがとうございました。